

# 宮城県大崎保健所栗原支所 感染症発生動向調査情報

(令和8年2月27日発行)

## 1. 定点把握対象疾患の発生動向 ※栗原支所管内を含む大崎保健所管内

上段は圏域全体で一週間に診断した患者数、下段は一つの定点(医療機関)あたり一週間に診断した患者数。\*は急性呼吸器感染症(ARI)に含まれる感染症。

疾病	疫学週			
	5週	6週	7週	8週
	1月26日～2月1日	2月2日～2月8日	2月9日～2月15日	2月16日～2月22日
急性呼吸器感染症(ARI) インフルエンザ* 新型コロナウイルス感染症*	805	867	904	659
	161.00	173.40	180.80	131.80
	240	295	263	105
	22	31	30	27
	4.40	6.20	6.00	5.40
小児科定点	2	2		
	0.67	0.67		
	1		1	1
	0.33		0.33	0.33
	11	9	9	8
	3.67	3.00	3.00	2.67
	16	15	21	22
	5.33	5.00	7.00	7.33
眼科定点				
		3		2
		3.00	2.00	
基幹定点				
	2			
	2.00			
拡張疾患				
	5	2		2

大崎保健所管内定点数: 内科定点2施設 小児科定点3施設 眼科定点1施設 基幹定点1施設

## 2. 集団発生状況 ※栗原支所の過去2週間における対応状況

施設区分	保育所	高齢者・障害者施設	医療機関
対応状況	◎	○	—
備考	インフルエンザ・ 新型コロナウイルス感染症	新型コロナウイルス感染症	

## 3. 栗原支所より

◎:複数対応中、○:対応施設あり、—:対応無し

### 【全数報告疾病】※栗原支所管内

なし

### 【定点把握対象疾患の発生動向】

※栗原支所管内を含む大崎保健所管内

- インフルエンザの患者報告数は減少傾向ですが、依然として高い水準で推移しており、注意が必要です。引き続き適切な湿度と換気を心掛け、咳エチケットの徹底、石鹸を用いた手洗い、手指消毒用アルコールの活用等、基本的な感染対策を心掛けましょう。
- 保育・高齢者施設等において、県内全域で感染性胃腸炎による集団発生事例の報告があり、依然として注意が必要です。患者からはノロウイルスが検出されています。ノロウイルスは次亜塩素酸ナトリウムによる消毒が有効です。次亜塩素酸水は名前が似ていますが、別物です。御注意ください。

### 【集団発生状況】※栗原支所管内

- 保育施設でインフルエンザの集団発生がありました。

### 【お知らせ】 3月24日は世界結核デー

- 1882年3月24日に細菌学者ロベルト・コッホが結核菌の発見を発表し、WHO(世界保健機関)は、結核問題の重要性を警告し、結核対策の強化の必要性を訴えるため、この日を「世界結核デー」と決めました。
- この日は、世界各地で結核の予防に関する啓発活動が行われます。

### 【施設職員の皆様へ】

- 保健所では管内施設等を対象に感染症予防啓発物品(手洗いチェッカー、CO2センサー)の貸出を行っています。
- 施設の感染対策として活用ください。



### 【感染症コラム～侵襲性髄膜炎菌感染症～】

- 髄膜炎菌感染症は、髄膜炎菌が病原体で、約2～10日(平均4日)の潜伏期間を経て発症します。
- 主な感染経路は飛沫感染です。保菌者の鼻咽頭に常在している菌が飛沫を通じて感染します。菌は気道を介して血中に入り、その後髄液へ侵入し、菌血症及び髄膜炎を引き起こします。急性劇症型では、発症から短時間で痙攣や意識障害、汎発性血管内凝固症候群(DIC)を伴いショックに至り、死亡することがあります。
- 治療は主に抗菌薬で行われます。
- 予防は、手洗いや咳エチケット等の飛沫及び接触感染対策を行い、患者との濃厚接触を避けることが重要です。
- 侵襲性髄膜炎菌感染症は、5類感染症の全数把握対象に定められています。日本国内では年間数十例程度の届出数ですが、診断した場合は、直ちに保健所へ届出をお願いします。

大崎保健所 栗原支所 疾病対策班

☎0228-22-2117 📠0228-22-7594